**スラ１　素晴らしいテーブルディスカッションを有難うございました。ここで地区職業奉仕委員会が後援している医療出前授業の事例を紹介させていただきます。**

**スラ2　RI（国際ロータリー）の職業奉仕に対する考えは2015年以来の9年間で激変しています。各年度毎に一言でまとめますと、ラビンドラン年度には自己の職業的手腕を活かす奉仕も職業奉仕と規定され、シャーム年度は地区に職業奉仕委員会は不要と規定し、ライズリー年度には国際大会の職業奉仕に関する分科会を無くなり、ラシン年度には貧困救済のための職業奉仕のみが奨励されました。マロニー年度には世界平和のため、クナーク年度にはSDGsのため、メーター年度には職業訓練のための職業奉仕が奨励され、そして本年度ジョーンズ年度はDEI優先のため職業を持たない会員への配慮が必要と呼びかけています。今はローターアクターもロータリーの正式会員ですから職業を持たないローターアクターに配慮すれば職業奉仕は語れないとも理解できます。なお現時点では次年度マッキナリー会長の職業奉仕についての発言は渉猟できませんでした。**

**スラ3　RIが職業奉仕を重要視しなくなった理由は引退者や仕事に従事していない主婦などを入れて会員増強したいのでロータリーの根幹は職業奉仕の理念であるという考えを取り下げたいのだと僕は思います。一方、日本のロータリークラブでは職業奉仕の理念に基づき、高い倫理基準を持って地域社会に貢献することに誇りを持ちたいというくい違いができていると僕は考えます**

**スラ4　RIが強調しているのは職業奉仕の実践です。2016年にRIの定款に追加された「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」の1文が追加されてから理念の職業奉仕とともに実践の職業奉仕が推奨されるようになりました。例えば2020年10月号のロータリーの友には大工の会員を中心としたロータリアンが被災地に仮設住宅を建てたことを職業奉仕として紹介しています。**

**スラ5　また2018年6月の理事会で一新された戦略計画の優先項目の第３項では公共イメージと認知度の向上の中に職業奉仕を強調するという目標が揚げられました。このため日本人のロータリアンの誇りを大事にしつつ、RIの変化に協調するためには公共イメージ向上のために職業奉仕を実践することを各クラブで検討されてはいかがでしょうか？**

**スラ６　ロータリークラブの強みはいろいろな職種の会員がいることです。そこで一度にいろいろな病気の予防法が聞ける出前授業を企画しました。2020年9月24日に中之島朝日カルチャーセンターで行った「変形性膝関節症･老人性難聴･口腔ケアとの付き合い方」と題した講演会を行いました。カルチャーセンターは講師料無料なら喜んで聴衆を集めてくれますし、スライドのようなカラーのビラを登録会員2000名に郵送してくれます。会場として朝日カルチャーセンターを選んだ理由は、授業の予定が自動的に朝日新聞紙面で紹介され、通常で借りれば高価なフェスティバルビル18階の大教室を無料で提供してくれるからです。**

**スラ７　当日は７４名の受講者が集まりました。**

**スラ８　しかし、１つのロータリークラブではレパートリーに限りがあります。そこで地区職業奉仕委員会に後援してもらい大阪東南RCを紹介してもらい、内科を加えた出前授業を共催することとしました。高齢者向けの認知症とひざの痛みの予防法に関する医療出前授業を開催しました。この出前授業の内容も朝日新聞に掲載されました。**

**スラ9　この講演会にもコロナ禍にもかくかわらず90名の観客と62名のリモート参加者が集まりました。**

**スラ10　そして今年4月13日にも地区職業奉仕委員会後援で豊中ロータリークラブと大阪中之島ロータリークラブによる糖尿病と関節痛の予防に関する出前授業をフェスティバルタワーで行いました。今年からはロータリーのメッセージも盛り込むために今もポリオの後遺症に苦しむ人が日本にも沢山いることを伝え、ポリオ根絶の重要性を聴衆に訴えました。**

**スラ11　来年4月11日にも地区職業奉仕委員会後援による医療出前授業を行う予定です。来年は今年度のRI会長のマッキナリー氏の「メンタルヘルスで他人を助けることで、本質的に自分自身が助けられる」というメッセージを含めるために更年期の鬱病からくる関節痛の話題を含める予定です。**

**スラ12　これらの講演会では６０分の講演の中で15分間。実に４分の１の時間をロータリーの公共イメージの向上のために費やします。例えば2022年に行って講演会では大阪中之島RC北村譲会長から開会の挨拶「ロータリークラブについて」の説明があり、続いて2021-2022地区職業奉仕委員会上甲悌二委員長から「ロータリークラブの職業奉仕とは」の話を５分ずつしてもらいました。また、会の最後には大阪東南RC北村佳久会長から「ロータリークラブに興味をもってほしい」との内容の閉会の挨拶を５分してもらいました。**

**スラ13　出前授業を新聞社のカルチャーセンターで行う利点はカルチャーセンターにとっては講師料が不要で、約3500円の会費を払って参加してくれる一定の客（ロータリアン）が確保される点です。受講者にとっては複数の講演を一度に聞けるという利点があります。ロータリークラブにとっては無料で新聞に掲載してくれて、会場費が無料でロータリークラブの宣伝ができるという得があり、近江商人の商売の心得である「三方よし」が実現できたと考えました。各クラブの行う職業奉仕の実践の参考になれば、幸いです。**

**スラ14　ご清聴ありがとうございました（2396字）。**